

三菱地所グループは、企業市民として社会との調和を大切にしながら、三菱地所グループの特色を活かしたさまざまな活動を推進することで、より良い地域・社会づくりに貢献します。

特集

都市と農山村をつなぐ「空と土プロジェクト」

都市と農山村の持続可能な未来のために

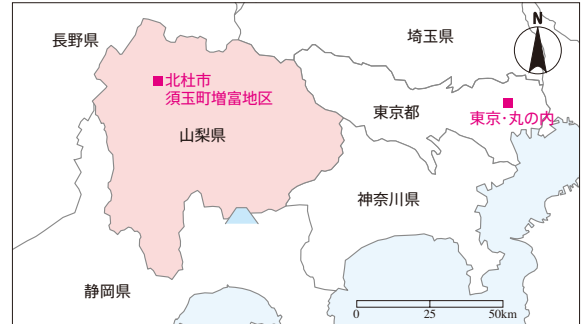
「空と土プロジェクト」とは？

『都市と農山村が、お互いに元気になる社会』をめざし、三菱地所グループでは、CSR活動の一環として、都市と農山村をつなぐ「空と土プロジェクト」を2008年度から開始しました。山梨県北杜市で活動を行うNPO法人「えがおつなげて」と連携し、限界集落地域である増富地区との交流を通して、都市と農山村、それぞれが抱える問題を認識し、ともに支えあう持続可能な社会の実現をめざし、さまざまな活動を行っています。

都市住民を対象にした開墾、間伐ツアーなど多様な体験プログラムを実施するとともに、農作物や間伐材等地域資源の活用など三菱地所グループの事業活動と連携した取り組みも順次進めています。

まずは農山村を知ることから 最初の一步を踏み出す

2009年度は大手町・丸の内・有楽町エリアの就業者を対象とした「味噌づくりツアー」、三菱地所藤和コミュ



ニティ株が管理するマンションの居住者を対象とした「空土バスツアー」、三菱地所グループの社員や家族を対象にした「CSRツアー」「親子体験ツアー」の計10回の体験ツアーを開催しました。じゃがいもやとうもろこしなどの植え付け、種まきや収穫体験、森林での間伐体験、また青大豆の種まきから始めた味噌づくり体験など、大人も子どもも初めての体験に目を輝かせながら、真剣にそして楽しみながら参加する姿が印象的でした。

中でも、棚田の復活は体験ツアーの成果として象徴的なものとなっています。「増富地区の代表的な景色だった御門の棚田を取り戻したい」という地域の方たちの願いから始まった御門地区の棚田の開墾。棚田の境目もわからないほどススキや藪で覆われた荒地が、開墾、整備、田植え、草刈り、稲刈りなど水田としての利用を通して、今では、昔ながらの美しい棚田の景観を取り戻しつつあります。





4月開催「開墾体験」



7月開催「田んぼの草とり」



8月開催「夏野菜収穫」



10月開催「稲刈り」

2009年度 体験ツアー開催実績

■ CSRツアー(三菱地所グループ社員対象)

4/29 開墾体験・じゃがいも植え付け
10/16~17 間伐体験・稲刈り

■ 親子体験ツアー(三菱地所グループ社員対象)

5/6 森林体験・野菜の種まき
8/7~8 農村体験キャンプ

■ 空土バスツアー

(三菱地所藤和コミュニティ管理のマンション居住者対象)

5/24 田植え体験・トウモロコシ種まき
8/23 トウモロコシほか夏野菜収穫

■ 味噌づくりツアー(丸の内エリア就業者対象)

6/7 青大豆の種まき
7/5 草取りと生き物観察
11/3 青大豆の収穫
11/21 味噌の仕込み会



10月開催「稲刈り」



11月開催「味噌の仕込み会」

「空と土プロジェクト」参加者のご意見・ご感想

- 地域の方と交流しながら、スタッフや参加者の方と楽しくみんなで一つのものを作り上げる作業が楽しかった。不思議と初対面の方ともすぐにうち解けられた。そして、食べ物にあらためて感謝するきっかけをもらえた一日になった。
- 都市で生活する我々が、開墾や自然との触れあいを通じて、高齢化社会(過疎化)や環境問題を非常に感じられて良かった。また心身ともにリフレッシュできた。
- 田植えだけでなく、生き物探しや森での学習が入っていて充実していました。開墾したばかりの田んぼは石が多く、農作業の大変さがわかりました。
- 子供がとても楽しめたのが良かったです。特に森林体験はインストラクターの方のお話が良かったです。子供には、もっとこのような企画に参加させたいと思いました。

<http://www.soratsuchi.com/>

農山村は資源の宝庫 地域の資源を活かしていく

作り手が見える安全でおいしい農作物、間伐されたまま放置されている木材。そうした豊かな地域資源と企業の経営資源を融合させ、新たな価値を生み出していくことを通して、地域の活性化に少しでも寄与していくこと。これも「空と土プロジェクト」の目標の一つです。

「山梨の実り完熟フェア」への協力

2009年11月、東京・新丸ビルのレストランにて山梨県産の食材を使用したフェアが開催されました。事前にレストランのオーナーと一緒に食材の発掘ツアーを行い、プロのおメガネになかったワインやチーズ、地鶏などをメニューに加え、また、フェア初日のオープニングパーティーでは空と土プロジェクトで栽培、収穫したコシヒカリ「空土米」でつくったおむすびも提供しました。

都市農村コミュニティ倶楽部「空土倶楽部」スタート

体験ツアーの回を重ねるにつれ、もっと作業がしたい、家族みんなで来てみたいなど参加者のさまざまなニーズが生まれています。そうしたニーズに応えるため、「空土倶楽部」をスタート、2009年秋から登録を開始しました。登録資格は体験ツアーに1回でも参加した方。2010年度以降、個人参加での農作業のお手伝いや増富地区のさまざまな情報提供などを順次始めていく予定です。

● Voice ●

次の日本社会を考える大きな手がかり

このプロジェクトに参加した人は、日本社会が忘れていたことを体感することができます。「土地を耕す人がいる」「力を合わせてつくる」といったことを改めて感じ取り、自らの心も耕していたのではないのでしょうか。

次の100年、どのような社会をつかっていくのか、どのような街をつかっていくのか、三菱地所グループにとって大きなテーマだと思います。農村にはその手がかりがあります。分断されていた農村と都会とが交流を復活させ、共生してお互い元気になることが大切です。今後は、「空と土プロジェクト」を通じて考えたことをテーマにシンポジウムを開催してみたいかがでしょうか。

一般社団法人
ロハス・ビジネス・アライアンス
共同代表

大和田 順子 氏

(「空と土プロジェクト」社外アドバイザー)



基本的な考え方と実績

[基本方針]

三菱地所グループでは、1994年に制定した社会貢献活動理念を、社会的課題の変化やグループ全体としての取り組みの必要性などの観点から見直し、2008年4月に「三菱地所グループ社会貢献活動基本方針」を策定しました。

三菱地所グループ 社会貢献活動基本方針

1. 社会的課題の解決と自らの成長

良き企業市民として社会的課題の解決を目指し、活動を通して自らも成長をはかります。

2. 三菱地所グループらしい活動の展開

事業領域の内外において、経営資源を生かした、三菱地所グループらしい特色ある社会貢献活動を展開します。

3. 社会との連携

対等、信頼、対話を基本として、さまざまな団体と連携して、透明でフェアな活動に努めます。

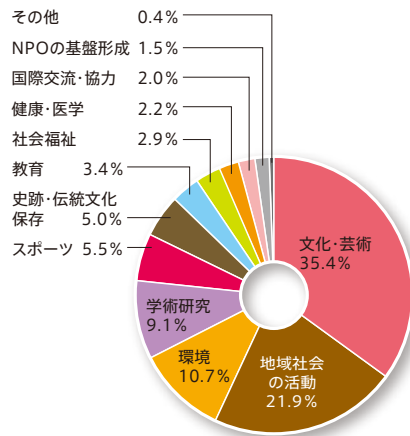
4. 重点分野

「地域社会との共生」「文化・芸術支援」「環境保全」「社会福祉」を重点分野として取り組みます。

[支出内訳]

2009年度、三菱地所(株)単体の社会貢献活動支出は約1,245百万円で、経常利益の1.40%にあたります。その内訳は以下の通りです。

■社会貢献活動 (2009年度)



地域社会との共生

「食育丸の内」プロジェクト

三菱地所(株)では、都市における食に関する問題に取り組む「食育丸の内」プロジェクトを2008年10月より開始しました。安全安心な食を通じて人々がより一層、心身ともに健康になれる社会をめざします。

具体的な活動として、学校法人服部学園理事長の服部幸應氏を会長に迎え、丸の内のレストランオーナーシェフを中心に組織した「丸の内シェフズクラブ」を発足。生産者と消費者、そしてレストランの三者のコミュニケーションを大切に企画やスキームづくりに取り組んでいます。

また、自給率向上や生産者支援を目的とした「青空市場×丸の内マルシェ」の開催や、環境的側面から、生物多様性を守る活動として在来種を未来に継承するために「江戸東京野菜(伝統野菜)」の普及活動を行うなど、東京近郊の地産地消も実践しています。



「青空市場×丸の内マルシェ」

江戸川区 「第10回優良まちなみ賞」を受賞

藤和不動産(株)が開発したマンション「リーデンススクエア 之江エアリーフィール」(2008年3月竣工)が、2009年6月、江戸川区「第10回 優良まちなみ賞」を受賞しました。同賞は、魅力あるま



リーデンススクエア 之江エアリーフィール



ちづくりの推進のために、豊かな環境の創出に寄与する物件を開発した個人や法人に対し表彰されるものです。同プロジェクトは、約60%の空地率を確保するなどして緑化率を高めたほか、敷地の一部を歩道状空地とすることで歩道幅を広げ、地域の安全や公共空間の整備に努め、同区のめざす豊かな環境づくりに大きく貢献したと評価されました。

千代田区立九段中等教育学校 への環境教育支援

三菱地所株は、グループ会社とともに千代田区でまちづくりを行う企業の立場から、地域社会への貢献活動の一環として2006年度より千代田区立九段中等教育学校への環境教育支援を継続して行っています(2009年度は第1学年約160名に対して実施)。「私たちができることの提案『仮想環境ベンチャーの取り組み』」をテーマとした総合学習の一環で、6月24日に事前学習として各クラスで丸の内地区における環境への取り組みについて説明した後、6月26日にはフィールドワークとして丸の内オアゾと新丸ビルを案内し、地域冷暖房プラントや屋上緑化、ドライミスト、電気自動車急速充電器などを見学していただきました。

また、少人数のグループごとに行う企業・団体訪問では、2009年度は4名の生徒を受け入れ、11月20日に丸の内エリアの環境への取り組みを見学し、1月29日には生徒による「ビル風を利用した風車の設置によるCO₂削減」の提案を発表していただきました。



新丸ビル前におけるフィールドワーク

「大手・丸の内町会」事務局の運営

三菱地所株では、大手町・丸の内地区において、企業、団体、商店などにより組織される「大手・丸の内町会」の事務局を1957年の設立以来担っています。会員相互の親睦を深めるさまざまな懇親行事のほか、会員の総意を行政の施策に反映させる役割とともに、治安警備・防災・環境整備など、行政と一体となった諸活動を行っています。特に、「安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例」に基づく月例の環境パトロールには、当社グループをはじめ、毎回多くの会員が参加しており、2009年度は11回実施し、延べ517名が参加しました。



東京駅周辺での環境パトロール(清掃活動)

エコキッズ探検隊

次世代を担う都市エリア在住の子どもたちを対象に、三菱地所株が会長社を務める「大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会」などで構成される実行委員会が主催者となり、2009年8月「エコキッズ探検隊」を実施しました。参加企業が取り組んでいる環境保全活動など



エコキッズ探検隊でのワークショップ風景

を題材とした「環境ワークショップ」「環境最先端企業や環境共生施設への訪問」などを行い、エネルギー需要の多い都市エリアが直面しているヒートアイランド現象、地球温暖化、資源循環などの問題を遊びながら、楽しみながら学ぶ体験プログラムを提供しています。

セントラル・セント・ジャイルズに おける地域貢献

三菱地所株が英国保険会社Legal&General社と共同で開発したセントラル・セント・ジャイルズでは、地域貢献の一環として近隣の小学校であるSt Joseph's Primary SchoolのOFSTED(※)の学校評価を向上させるべく、パートナーシップを組んで学校の教育環境改善に無償で取り組んでいます。OFSTEDによる同校の評価は現状「Good」ですが、これを2012年までに最上位である「Outstanding」まで引き上げるため、講堂や校庭といった施設の改装・改善に加え、建物の維持管理やファイナンス面等でのアドバイスを提供しています。また、セントラル・セント・ジャイルズのアートワークの一つを担当した彫刻家Steven Gontarski氏による子どもたちのワークショップの開催や、隣接する教会の庭園の整備資金の提供など、多岐にわたるプログラムで地域貢献に取り組んでいます。



Steven Gontarski氏によるワークショップ

※OFSTED: Office for Standards in Education
→イギリス全土の学校教育水準を調査・評価する政府機関

文化・芸術支援

「三菱一号館美術館」の運営

三菱地所㈱は、2009年に「三菱一号館」を明治期の設計図や保存された部材などに基づき可能な限り忠実に復元しました。そして、2010年4月に「三菱一号館美術館」としてオープンさせ、近代東京の基点である丸の内の歴史と至便性に富んだ立地を踏まえ、19世紀の近代美術を中心とする多彩な企画展を年3～4回開催していくこととしました。

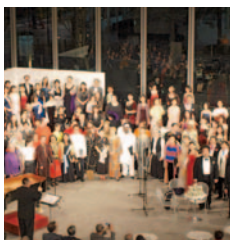
国内外の美術館や周辺の文化施設との連携・ネットワークを築きながら、長期的・国際的な視野での美術館活動をめざし、また、街に開かれた美術館として、そこで働く人々、訪れる人々の利便性を重視し、「都市生活の中心としての美術館」という視点で運営を行っていきます。



「三菱一号館美術館」外観

藝大アーツ イン 東京丸の内

三菱地所㈱と東京藝術大学は、2009年10月に丸ビルにて「藝大アーツ イン 東京丸の内」を開催しました。2009年度で第3回となる本イベントは、東京藝術大学の若い才能の発表の場を設けるとともに、文化・芸術による丸の内地域の活性化をめざして行われました。期間中は、「東京藝術



藝大アーツ イン 東京丸の内

大学音楽学部オペラ科」に「丸の内合唱団」と「国連合唱団」が加わりオペラを公演したほか、「三菱地所賞」受賞者による音楽リサイタルやアート作品展示、留学生による民族楽器演奏会などさまざまなイベントが開催されました。

「三菱地所アルティアム」の運営

三菱地所㈱は福岡市の天神地区にある「イムズ(天神MMビル)」の8階でアートギャラリー「三菱地所アルティアム」を運営しています。ここでは、地元九州エリアを中心に、絵画、写真、建築、生活デザインなど、ジャンルを問わない現代アートの作品をいろいろな角度からご紹介しています。また、「イムズ(天神MMビル)」を運営管理する㈱イムズでは「三菱地所アルティアム」と連携して地下2階のイムズプラザなど館内のプロモーションスペースを利用した展示会も開催しています。



三菱地所アルティアム館内

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭

2009年5月3日～5月5日に東京国際フォーラムで開催されたクラシック音楽の祭典『ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭』。2005年からスタートしたこの音楽祭は、ゴールデンウィークに東京都心で開催される新しいスタイルの音楽祭として定着しており、丸の内エリアの活性化や文化発信に寄与しています。三菱地所㈱は、協賛企業として第一回から参加するとともに、独自にエ

リアイベントとして、4月28日～5月5日の日程で、丸ビル・新丸ビルなどをはじめとする丸の内エリア各会場で無料コンサート100公演を開催しました。一流のピアニストや、オーケストラから、丸の内でも働くOLピアニストやワーカー合唱団まで多彩なアーティストたちが演奏し、エリア全体で音楽の祭典に取り組んでいます。



ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭

アートアワードトーキョー丸の内

「アートアワードトーキョー丸の内」は、「若手アーティストの才能を発掘し、育成・支援していくこと」「アートを通じて街の活性化に寄与すること」を趣旨として、日本の主要な美術大学・芸術大学の卒業制作展から選抜した作品を丸ビル・新丸ビルに隣接する「行幸地下ギャラリー」で展示し、公開審査により今後の活躍が期待される優秀な作家にアワードを授与するものです。2007年にスタートして以来、本企画で展示したことをきっかけにチャンスを得て活躍を始める作家もあり、芸大・美大の学生たちからも期待が寄せられています。2009年度は、4月29日～5月31日に48点の作品展示を行いました。三菱地所㈱は、特別協賛企業として参加しています。



アートアワードトーキョー丸の内

環境保全

大手町・丸の内・有楽町 打ち水プロジェクト

東京都千代田区の「大手町・丸の内・有楽町地区」では、伝統的な生活の知恵「打ち水」でヒートアイランドの抑制をめざしたイベント「打ち水」プロジェクトを実施しました。三菱地所(株)が会長社を務める「大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会」などで構成される実行委員会が主催し、2009年は7月から4会場で約1,900名の参加を得て、排水を再利用した「中水」を活用し、気温変化も計測しました。今後も、都市部特有のヒートアイランド現象緩和に向け、大手町・丸の内・有楽町エリアで、どなたでも参加いただける同プロジェクトを継続していきます。



打ち水プロジェクト

泉パークタウンにおける清掃活動

仙台市に所在する「泉パークタウン」では、1974年の街開きから2009年で35周年を迎え、グループ会社とともに、街のブランドアップ活動を継続して実施しています。その一環として、グループ会社の社員・三菱地所(株)の退職者サークル「ゆうゆう倶楽部」の会員が参加してタウン内の歩道・緑道の清掃を定期的に行っています(2009年度は4回実施)。泉パークタウンでは「Beautiful Town, Beautiful People, Beautiful Life」をキーワードに、魅力的なまちづくりのため、さまざまな活動を行っています。

社会福祉

第8回キラキラと アートコンクールを開催

三菱地所(株)では、全国の障がいのある児童・生徒さんを対象にした絵画コンクールを2002年度より毎年開催しています。応募作品すべてをインターネットで公開することが特徴で、2009年度は全国から過去最多となる1,049点の応募があり、優秀作品50点(※)は「丸ビル」をはじめ全国8会場を巡り、多くの人々に鑑賞いただきました。

<http://www.kira-art.jp>



原画展 仙台会場

※ 第8回優秀賞受賞作品は、裏表紙をご覧ください。

出張コンサートの継続開催

三菱地所(株)では、東京都内の特別支援学校に、プロの演奏家を派遣して音楽会を開催する出張コンサートを2004年度より行っています。2009年度は合計8校で開催し、約980名の児童・生徒さんたちに、おしゃべりも交えた親しみ溢れた演奏を楽しんでいただきました。



出張コンサート
(東京都立小金井特別支援学校)

ボランティア支援制度

社員のボランティア支援活動

三菱地所(株)では、グループ会社を含む社員を対象としたボランティアセミナーの実施、手話サークルへの支援、ボランティア支援制度の整備など、ボランティア

活動に取り組みやすい環境づくりに努めています。

また、三菱地所(株)の各部署およびグループ会社に、それぞれ社会貢献担当者をおき、社会貢献に関する各種連絡、情報の共有化を図っています。

■三菱地所ボランティア支援制度の主な概要と利用実績

制度	概要	利用実績(延べ人数)				
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
ボランティア休暇	ボランティアを行う場合、積立休暇(特別有給休暇)を利用可	2	1	5	4	4
ソーシャル・ラーニング	就業時間内のボランティア活動可	0	0	0	11	0
ボランティア保険付保(※)	ボランティア活動中の事故を補償する保険を会社が付保(家族も対象)	17	9	4	11	13
活動費補助(※)	ボランティア参加費、交通費の一部を会社が補助	31	64	25	37	52

※グループ会社も対象とした制度